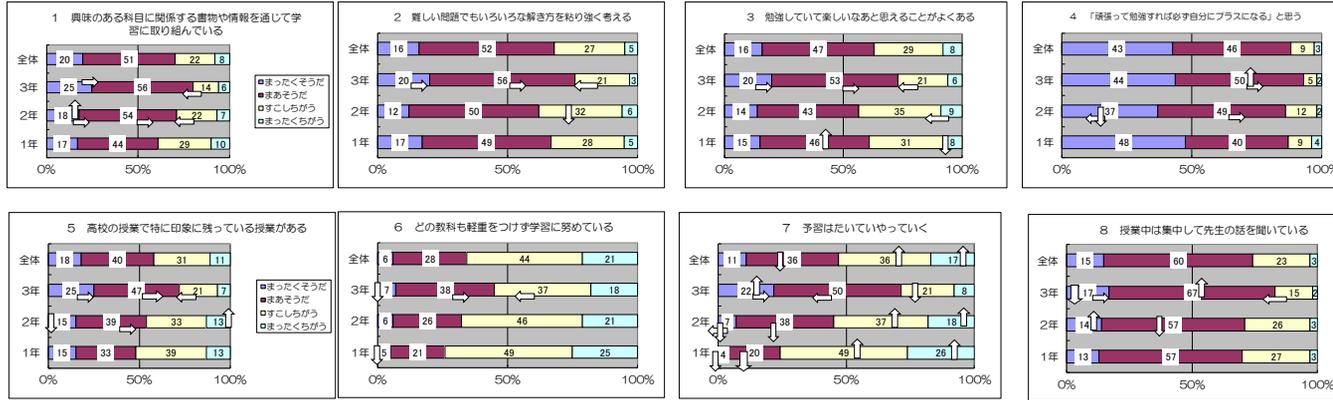
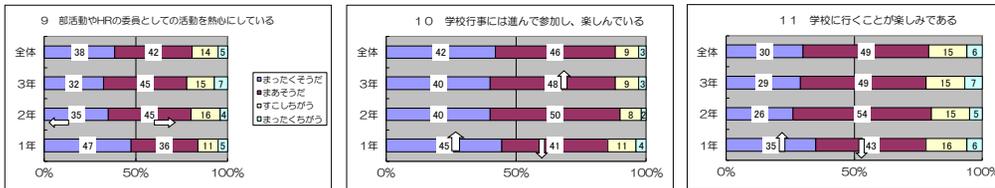


(1) 学習意欲



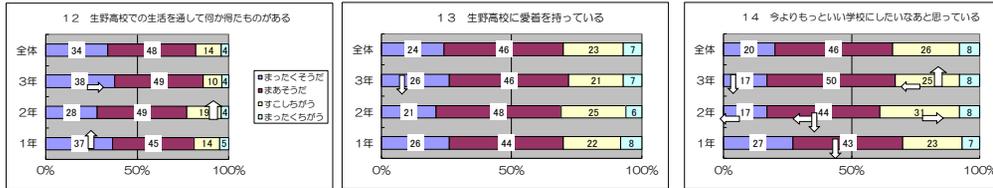
どの学年も7割以上の生徒が「授業を集中して聞いている(問8)」と答えています。併せて、ほぼ9割の生徒が「勉強すればプラスになる(問4)」と答えています。生徒自身、知識を得ようとする意欲は身られるようです。しかし、「勉強していて楽しい(問3)」と思う生徒は全体で6割弱、「印象に残る授業(問5)」では6割を切っています。勉強しなくてはならないとは思っているが、勉強は辛いものだと思っている生徒が多いようです。項目【問3】は伸ばしていきたいですし、生徒が積極的に参加する授業が求められていると思われます。また、「難しい問題でも粘り強く考える(問2)」とほぼ7割の生徒が答えているのに対し、「どの教科も平均して学習している(問6)」と答えている生徒は全体で3割半です。これは授業や予習で1つの科目に勉強時間が割かれていると考えられますので、学年において各教科が進捗し、生徒の学習が偏らないよう計らう必要があるのではないかと考えられます。予習の項目(問7)に関しては、3、2、1年の順番で大幅に低くなり、1年生では3割を切るという結果になりました。家庭学習が定着していないと思われるので、早急に対策が必要です。

(2) 向学校性



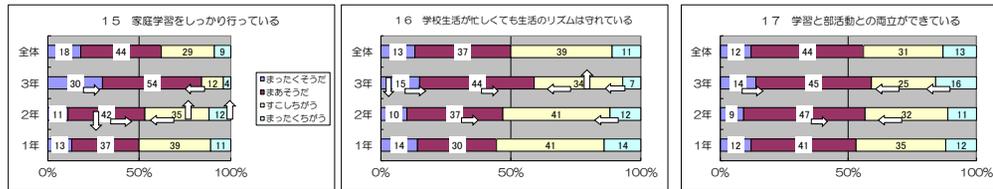
3学年とも高い向学校性を示しています。部活動やHJRには熱心に取り組み、また8割近くの生徒が学校自体を楽しんでいるようです。

(3) 帰属意識



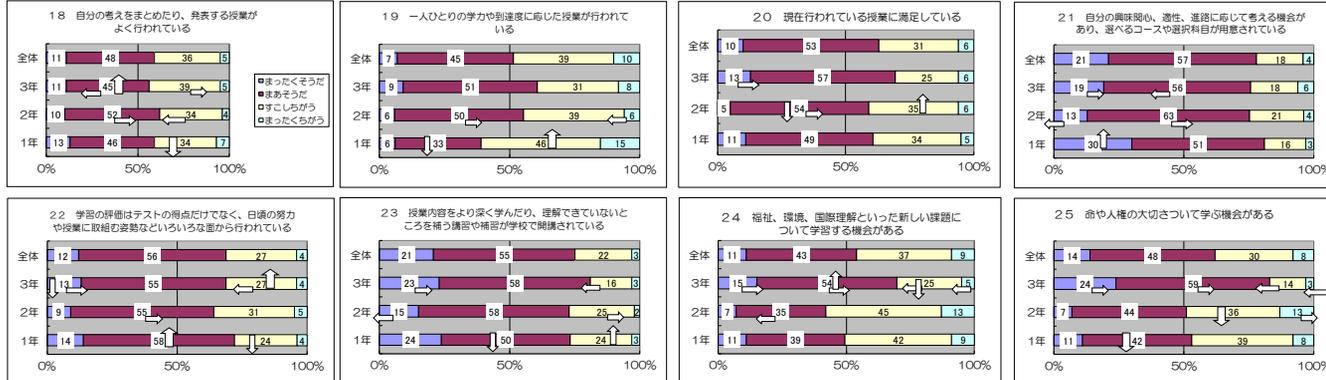
3学年とも7割近くが帰属意識を持っています。  
向学校性の結果に見られるように、本校に愛着がありこの学校に入學して良かったと思っているようです。  
学校をよりよくしたいという項目が2年生は少し低下しました。

(4) 学習との両立



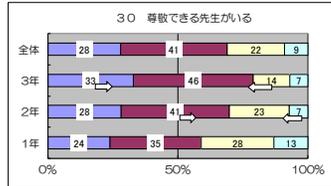
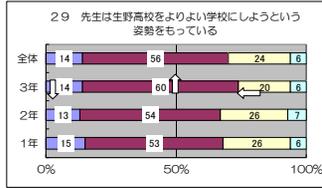
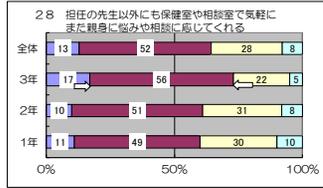
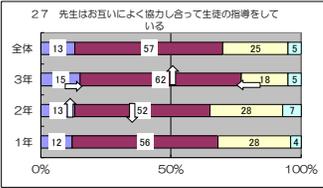
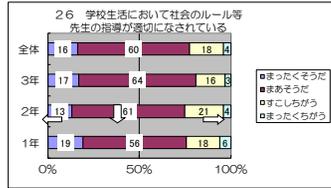
学習との両立に関しては、各学年苦勞している様子が見えませんが、家庭学習(問15)において3年生は受験勉強で、割合は8割を超えています。1、2年生では家庭学習がまだまだ身についていないようです。学習(問7)の結果に見られるように、部活との両立がまだまだ上手にいかず、学習の時間がとれていないのが見られます。また、学習の時間がとれないのは、家でスマホに触れる時間が増加していることも考えられますので、一概に部活動が原因と言えません。

(5) 学習指導評価



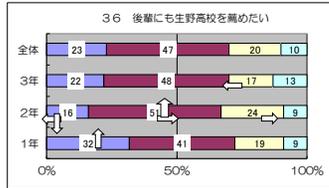
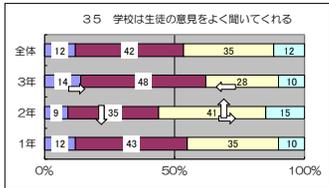
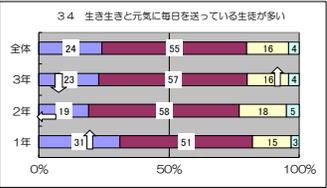
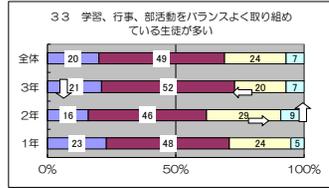
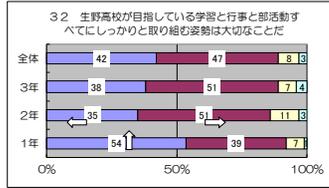
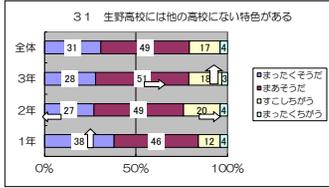
授業満足度(問20)は3年生で7割、1、2年生で6割となっています。家庭学習における理解度(問15)がそのまま授業満足度に結びついているように思われます。  
習熟度別授業(問19)に関しては、3、2、1年生になっています。前年と比較すると、1年生が少し高いのが気になります。  
福祉や環境についての評価は前年と同じ高めで、福祉、環境、国際理解の満足度は5割、人権に関しては6割程度が、肯定的回答です。

(6) 教員評価



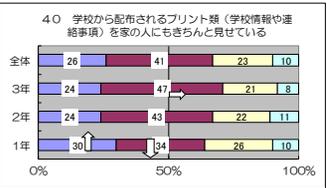
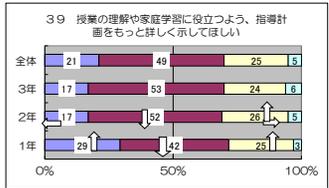
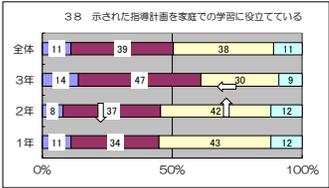
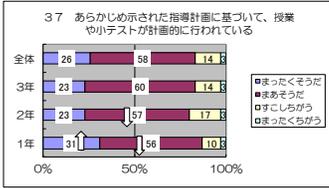
概ね、教員の指導に関しては肯定的な回答が多いです。教員同士が協力して指導に当たっていると生徒は感じているようです。7割程度の生徒が、尊敬できる先生を見つけているようです。質問30の評価の上昇が授業満足度(問20)に繋がるのではと考えられます。

(7) 学校評価



多くの生徒が、学習と行事と部活動すべてに取り組むことは大切だ(問32)と感じています。それに対し、同じく関連する自己評価(問33)が低く、周りの評価(問34)が高いということから、あまり自分に自信のない生徒が多いようです。生活リズム(問16)の改善や、学習と部活動の両立(問17)が上手に出来るよう指導をしてゆけば、自信が付き、授業参加(問9)や家庭学習(問15)の割合も上昇するだろうと考えられます。7割の生徒が後輩にも生野高校を勧めたい(問36)と考えているのは、素晴らしいことだと思います。向学性(問11)や学校改善(問14)の上昇が見込めれば併せてこの数値も上昇することでしょう。

(8) 経営課題評価



8割以上の生徒が、授業や小テストは計画的に行われている(問37)と感じています。にもかかわらず、もっと授業計画を示してほしいという項目(問39)が高いのは非常に疑問符が付きまします。ただ、こちらの指導の計画をあまり消化できていない生徒が多いのは事実のようで、質問38からわかるように、指導計画を家庭の学習に役立てているという項目は3、2、1年の順に下がっています。これは家庭学習の項目(問15)と同様の動きを見せていますので、指導の仕方次第で向上が見られるでしょう。